２０２２年８月１１日

牛塚貴博

Mann-Kendall検定プログラムの使用法

【注意】

本プログラムの解析結果を論文などで使用する場合には，下記サイトで指定されている引用を記載する必要がある．

Pymannkendall：<https://pypi.org/project/pymannkendall/>

Hussain et al., (2019). pyMannKendall: a python package for non parametric Mann Kendall family of trend tests.. Journal of Open Source Software, 4(39), 1556,

https://doi.org/10.21105/joss.01556

使い方

1. 共有フォルダからMann-Kendall\_testというフォルダごとパソコンにコピーする．
2. 検定したいデータをinputというフォルダに入っているinput\_sample.csvと同じ形式のcsvファイルで用意する．ファイル名はinput.csvとしてinputに入れる．
3. resultというフォルダにjpg, png, svgというフォルダが存在することを確認する．
4. run.cmdをダブルクリックする．
5. resultフォルダに結果が出力される．result.csvには検定の結果が格納されており，jpg, png, svgには入力したデータの経年変化や度数分布を示すグラフが示される．

参考：Pymannkendall

<https://pypi.org/project/pymannkendall/>

ソルバーとして使用しているPymannkendallというプログラムについては上記サイトに説明がある．このサイトではMann-Kendall検定から派生した検定方法についても記載がある．本プログラムの解析結果を論文などで使用する場合には，上記サイトで指定されている引用を記載する必要がある．